

平成13年度 文学部 授業計画表 [syllabus]

地3選

科目名 計量地理学 <small>(英文名) Quantitative Geography</small>	4単位	<small>(ふりがな)</small> 担当者	<small>うち</small> 内田順文	<small>だより</small> <small>ふみ</small>
<p>授業のねらいと概要: 現代地理学は計量革命によって始まったと言われます。計量革命は単に地理学における計量的手法の導入にとどまらず、論理実証主義や空間理論といった地理学の方法論的再検討をも提起し、その後の地理学に大きな影響を与えてきました。いまの地理学の研究論文に、計量地理学の知識が無ければ理解できないものが多いのはそのためです。この時間は、こうした現代地理学の方法論と計量的手法の実際の適用法(初步的な单变量の統計的処理、相関分析とクロス表、多变量解析<重回帰分析・判別分析・因子分析・数量化理論など>および社会調査のデータ処理の手順について、実際のデータを扱いながら解説・実習します。卒業論文の計画・分析手法に関して即戦力となる非常に重要な事項について講義しますので、卒業論文でデータ解析を行う学生、アンケート調査を行う可能性のある学生は、必ずこの時間を履修し、地理学研究におけるデータ分析方法の基本を必ず身につけてください。</p>				
<p>また、実際に分析するデータには、「日本の文化的指標(特に食文化)」を用いる予定ですので、文化地理学に興味のある人も受講しておいて損はないでしょう。</p>				
<p>なお、コンピュータによる具体的な統計処理(SPSSを用いる)の方法に関しては「統計情報学」が担当しますので、受講希望者は「統計情報学」を必ず同時に受講しておいてください。</p>				
<p>なお、みなさんがこの講義を受講するための最低必要条件、講義のルール、受講生の評価方法などについて詳しい説明を行いますので、少しでも受講する可能性のある人は、必ず1回目のガイダンス授業に出席して下さい。ガイダンスを聞かなかった人には当講義の履修を遠慮してもらうことがあります。</p>				
<p>教科書と参考図書: 教科書は使用せず、毎時間のはじめに必要なプリントを配布します。参考書は希望があれば紹介します。</p>				
<p>評価法: 前期試験(有り)、後期試験(有り)、レポート(無し) 受講者の数によって変更することがありますので、詳細については、1回目のガイダンスの時間に決定します。</p>				

【授業計画】

回数	授業内容とそれに必要な準備	回数	授業内容とそれに必要な準備
第1回	講義内容についての説明と受講に際しての注意 計量地理学とは何か? 近代地理学の歴史と計量地理学	第13回	多变量解析(1) 多变量解析とは何か? さまざまな多变量解析:それぞれの適用範囲
第2回	近代地理学の歴史と計量地理学 新しい地理学と計量革命 計量地理学の方法論:計量と論理実証主義	第14回	多变量解析(2) 重回帰分析 オーソドックスな要因分析としての利用法
第3回	地理学の方法論 科学としての地理学とはどういうものか? 地理学の論文は何を目的にすべきか?	第15回	多变量解析(3) 判別分析 グループ間の差異の要因分析
第4回	統計学的方法の基礎 データの表示とデータの収集様式 データの性質と統計尺度	第16回	多变量解析(4) 主成分分析と因子分析 定性的データの要因分析としての利用法
第5回	社会調査法(1) 社会調査とは何か:聞き取り調査とアンケート調査 社会調査の計画と実践:注意すべきこと	第17回	多变量解析(5) 主成分分析と因子分析 何らかの関連性を見いだすための利用法
第6回	社会調査法(2) アンケート調査を失敗しないためのポイント アンケート調査票の作り方	第18回	多变量解析(6) 主成分分析と因子分析 因子得点と得点行列の利用法
第7回	社会調査法(3) アンケート調査の実習 出身地と食べ物の好みとの関係はあるか?	第19回	多变量解析(7) クラスター分析 あらゆるもの分類する
第8回	データの集計方法 単純集計とクロス集計 データ行列とデータイメージの作り方	第20回	多变量解析(8) 数量化理論1類 定性的変数の要因分析
第9回	2变量間の分析(1) 变量間の関連性:相関係数と相関行列 相関分析と単回帰分析	第21回	多变量解析(9) 数量化理論2類 定性的変数のグループ化
第10回	2变量間の分析(2) 分散分析:グループ間の差の検定 有意水準とは何か?	第22回	多变量解析(10) 数量化理論3類 定性的変数から何かを探り出す方法
第11回	2变量間の分析(3) 分散分析の実用例 定量的変数と定性的変数	第23回	(予備日)
第12回	2变量間の分析(4) クロス集計とカイニ乗検定 定性的変数の相互関連を読む	最終回	まとめ:計量的手法の適用のしかた 卒論でどのように統計分析を生かすか? データの生かし方・殺し方